

## 令和6年度「長崎県教育委員会服務規律強化月間」実施結果報告書

所属名	長崎県立島原特別支援学校		作成者	職名	教頭
電話番号	(0957) 65-4161			氏名	木下 裕一郎
1 年間の実施内容（取組状況・実績等）					
4月	実施テーマ	<input type="checkbox"/> わいせつ行為等防止のための自己分析チェックシート <input type="checkbox"/> 私の体罰根絶宣言 <input type="checkbox"/> 情報セキュリティ対策の徹底 <input type="checkbox"/> 飲酒運転の根絶			
<u>取組の評価・改善点</u> 年度初めに、期間を設定して上記の取組を実施した。ポータルサイトで学校全体の職員にお知らせし、不祥事防止に向けて各自の取組と意識の高揚を図った。					
8月	実施テーマ	<input type="checkbox"/> ハラスメントの防止 <input type="checkbox"/> 体罰・不適切な指導の防止 <input type="checkbox"/> 交通事故の防止			
<u>取組の評価・改善点</u> 職員会議後に研修会を設定した。管理職から服務規律委員会担当者研修の内容伝達、服務規律委員の若手教員から問題提起や話題提供を行った。また、研修のなかでは、意識や効果が上がりそうな取組を考えて両隣で意見交換をしたり、全体で共有したりして共感や意識定着を図った。					
12月	実施テーマ	<input type="checkbox"/> 情報セキュリティマニュアルの遵守 <input type="checkbox"/> 飲酒運転及び交通違反の防止			
<u>取組の評価・改善点</u> 情報資産の分類と情報資産の取扱いについて再度周知徹底を図った。加えて、年末年始酒席が増えることから飲酒運転やアルハラを取り上げた。さらに、職員の交通事故が続いたことから、交通安全運動の期間に合わせて、ポータルサイトのお知らせを使い、職員に交通事故防止を呼び掛けた。					
2 服務規律委員会					
委員会名	服務規律委員会				
構成員	所属内委員（19名）、外部委員（1名 役職等：元学校評議員）				
3 年間を通しての計画の達成状況					

年間を通しての取組状況チェックリスト

- (1) 校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、別表のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。取り入れた工夫を別表の記号（ア～コ）で回答ください。（複数回答可）

ア	イ	オ	キ						
---	---	---	---	--	--	--	--	--	--

その他（ア～コ以外で研修に取り入れた工夫があれば記入ください。）

県通知やコンプライアンス通信、新聞記事を随時取り上げて周知徹底を図ったり、年度初めには自分の宣言文を日頃、自分が目にするところに表示することを勧めたりして、日常的に服務規律遵守の意識がもてるようにした。

- (2) 不祥事根絶に向けた職員の意識が維持・継続されるような心に届く取組ができたか。  
※ 該当する項目に○を記入ください（以下同じ）。

<input checked="" type="radio"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 少し不十分	<input type="radio"/> できなかった
--------------------------------------	-----------------------------	-----------------------------	------------------------------

- (3) 職場の連帯強化と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組ができたか。

<input type="radio"/> できた	<input checked="" type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 少し不十分	<input type="radio"/> できなかった
---------------------------	--	-----------------------------	------------------------------

- (4) 心と性に関する自己分析チェックシートは正直に回答できる環境下で実施されたか。

<input checked="" type="radio"/> できた	<input type="radio"/> 概ねできた	<input type="radio"/> 不十分だった	<input type="radio"/> 実施していない
--------------------------------------	-----------------------------	------------------------------	-------------------------------

資料添付 有 ・ 無

別表 校内研修の工夫（学校のチーム力を高めるために（H23.3）から）

校内研修をより効率的・効果的に実施するためには各学校の実態等に合わせて実施内容や時期を定めて計画的に取り組むことが大切です。

校内研修の実施方法については、職員会議等での管理職員からの指導のみではなく、以下のような工夫を取り入れながら研修内容の充実を図ることが求められます。

【工夫（例）】

ア 運営の工夫

- ・管理職員の指導中心の研修から、服務規律委員会が主導して運営する研修に運営方法を変える。

イ 具体的な事例の紹介

- ・県内で起こった事案や他県での類似の事案など、具体的な事例を用いる。

ウ 外部講師を招いての講話

エ 体験的な研修

- ・ロールプレイを取り入れる。

オ グループ討議

- ・小グループに分かれての事例研究、討議を行う。
- ・「ヒヤリ・ハット」した体験や普段から心掛けていること等を発表し合う。

カ ワークシートの作成

- ・何が原因か、不祥事を起こした場合の影響、未然に防止するための方法等を記述する。

キ チェックリストを作成

- ・チェックリスト（アンケート）を用いて自己点検を行う。

ク ファイリングして保存

- ・各教職員が通知文や研修用資料をファイリングして活用する。

ケ 決意表明

- ・全教職員連名の決意表明文又は個人ごとの宣誓文を作成する。

コ 職場の連帯意識の醸成と働きやすい職場環境づくりに繋がるような取組

- ・川柳や標語を募集して主体的な取組となるよう工夫する。